

新製品紹介

TA120E デジタルジッタメータ

高速測定，高精度光ディスク用ジッタ測定器

デジタルジッタメータTA120/TA130は，光ディスク用(CD/DVD)ジッタ測定器です。内部の測定系は従来同様のTIA(Time Interval Analyzer)回路を採用し，高精度の測定結果が得られます。また，ジッタ測定更新周期が最速50 ms以下で高速に測定できるため，スループットの要求される生産ラインにも適しています。

[主な特長]

高精度測定

TA120/TA130は上位機種であるTA320やTA520を高速更新，単機能化したTIA方式のジッタ測定器です。測定部は連続サンプルレート10 MS/s，内部ジッタ300 ps rmsのTIA回路です。測定結果は上位機種のTA320やTA520と完全に互換性が取れていますので，設計，開発から生産までトレーサブルな測定結果が得られます。

高速ジッタ測定

DVD標準速のEFM(Eight to Fourteen Modulation)データ(10⁵サンプル)を測定した場合，「測定時間 約20 ms + 演算時間 約20 ms」の高速測定が可能です。タクトタイムの要求される生産ラインで，検査時間を大幅に短縮できます。また，ジッタ値はリアパネルからアナログ電圧で出力されますので，通信インタフェースやプログラムを使用せずに，コンピュータへのデータ取り込みが可能です。

豊富な測定ファンクション

CDの3Tジッタ測定，DVDのData-Clock位相差ジッタ測定，CD-R/RWのBI-Phaseジッタ測定を1台で測定できます。

また，振幅測定機能機種では，ジッタと同時にRF信号振幅も同時に測定することが可能です。

自己診断，自己校正機能

TA120/TA130の時間測定部とジッタ演算部はフルデジタルで構成されており，単体で自己診断が行えます。また，セルフキャリブレーション機能により，内部の基準電圧と信号源を用いて，トリガレベル，T-V変換器，クロック入力の位相補償，回路系の遅延等を単体で校正することが可能です。



[主な仕様]

測定ファンクション

- 3Tジッタ(CD×1~×10，×0.1 step設定)
- Data-Clockジッタ位相差ジッタ(0~40 ns)
- BI-PHASEジッタ測定(TA130のみ)
- 3Tパルス幅，Data-Clock時間差(TA130のみ)
- RF信号振幅測定(Optional)
- サンプリングレート：10 MS/s
- 内部ジッタ
- 3Tジッタ測定時：300 ps rms
- Data-Clock位相差ジッタ測定時：400 ps rms
- サンプルサイズ
- 10⁵ samples/100 ms/500 ms/任意(1 ms~1000 ms)
- 外部測定制御入力
- 外部アーミング入力，インヒビット入力
- PLLクロック再生：27 MHz
- イコライザ回路：DVD×1
- 表示部：アナログメータ及び7セグメントLED
- 外形寸法：213(W)×132(H)×35(D)mm
- 質量：約5 kg

問い合わせ先：カスタムサポートセンター

TEL：0120-137046